

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



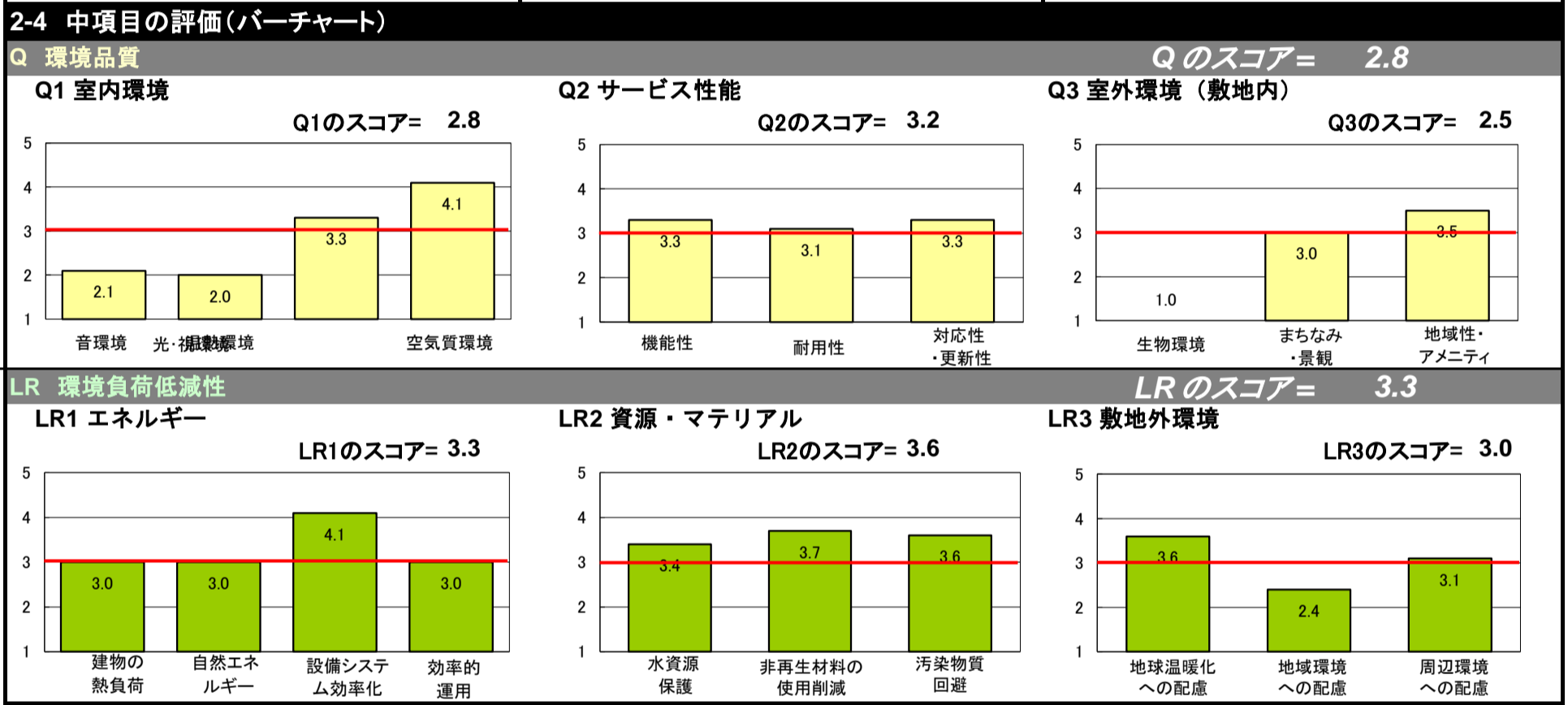
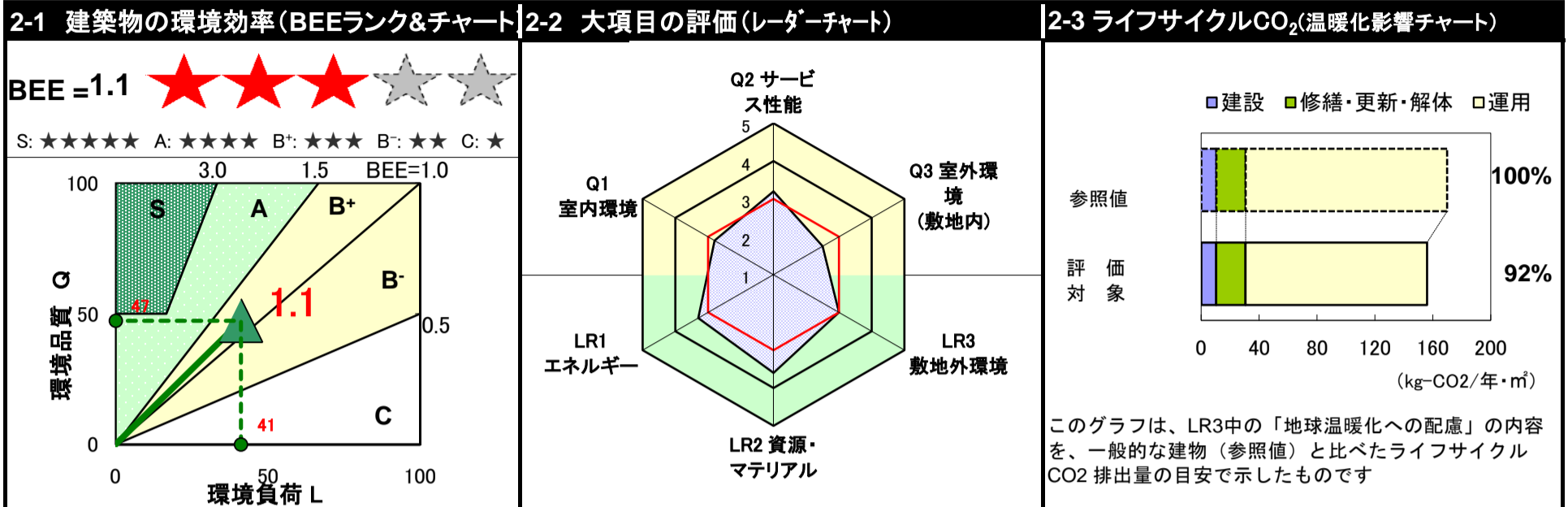
■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.2)

1. 建物概要								
建物名称	信濃倶楽部							
建設地	中央区 柳島町3丁目27 外4筆							
用途地域	準工業地域、準防火							
建物用途	病院,							
竣工年	2012年9月 竣工							
敷地面積	2,105.95 m ²							
建築面積	955.96 m ²							
延床面積	2,867.26 m ²							
階数	地上4F							
構造	S造							
評価の段階	実施設計段階評価							
評価の実施日	2012年3月10日							
2. CASBEE新潟の評価結果								
		B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{47}{41} = 1.1$					
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★								
3. 新潟市の重点項目の評価								
1. 長寿化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	平均スコア 3.3		バリアフリー	Q2.1.1.3	3.0			
			維持管理	Q2.1.3	4.0			
			更新性	Q2.3.3	3.0			
			2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	平均スコア 3.0		耐震・免震	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	3.0			
			3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	平均スコア 2.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	2.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 3.0		建物の熱負荷抑制	LR1.1	3.0			
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0			
			5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 4.7		節水	LR2.1.1	4.0
						リサイクル材の使用	LR2.2.4	5.0
再利用可能性向上	LR2.2.6	5.0						
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	平均スコア 2.0		生物環境の保全・創出	Q3.1	1.0			
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	3.0			
			7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	平均スコア 3.5		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	4.0			
			4. 新潟市の重点項目の配慮事項					
建物を長期に渡って利用出来るよう維持管理が簡単に行える様に配慮した。								

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE®新潟 | 評価結果内訳 |

■使用評価マニュアル：CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築（簡易版）2008年版 使用評価ソフト：CASBEE新潟(v.1.2)



2-5 設計上の配慮事項

総合	その他
高断熱、省エネルギー化を図る。再利用資源を活用する事で環境負荷軽減に配慮する計画としている。	
Q1 室内環境 ルーム相互間や共用部との間仕切り壁を遮音性能を高め音環境の配慮を行う。ルーム内の空調を個別方式として温熱環境を個別に制御するように配慮する。	Q2 サービス性能 ゆとりのある階高と天井高さ。フレキシビリティ性向上を図り事務室等はOAフロアを配置した。
Q3 室外環境 (敷地内) バルコニー、屋根の軒の出による日影の形成に努めた。	LR1 エネルギー ルームを個室にして、個別空調にして不在ルームのエネルギーロスを抑える配慮を行う。
LR2 資源・マテリアル 節水型便器や自動水栓を積極的に採用して、資源消費を抑えるように配慮する。加熱調理器具にIHを採用して排熱及びCO ₂ 削減を行い、省エネルギーにも配慮した。	LR3 敷地外環境 空調熱源は電気方式、ガス湯沸し器は潜熱回収型を積極的に採用してCO ₂ 削減及び、屋外温熱環境に配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される